

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	AT実技	実技	1	15	検査・測定と評価
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
AT学科 1年	杉山 啓光	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>本授業は、JSPO-ATとして必要不可欠な評価技術である関節可動域検査および徒手筋力検査について、基礎理論の理解と正確な実技技能の習得を目的とする。 各検査の目的・手順・評価基準を理解したうえで、安全かつ適切に実施できる能力を養い、得られた評価結果を障害予防やコンディショニング、リコンディショニングへと活用できる実践的な判断力の基礎を身につける。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>授業にあたっては、事前に配布資料やテキストを用いて解剖学的構造や検査手順を予習し、授業後は自己練習や復習を行うことが望ましい。 実技に不安がある場合や理解が不十分な点については、教員が適宜助言・デモンストレーションを行い、個別の質問にも対応する。 安全管理に十分配慮し、積極的に実技に取り組む姿勢を求める。</p>					
教科書・参考書					
<p>新・徒手筋力検査法 公認AT専門テキスト⑥検査・測定と評価</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。（公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします）</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験					
その他	100	出席状況や取り組み姿勢を総合的に評価する			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		関節可動域テストとは 関節可動域テスト【上肢】		/	杉山
2		関節可動域テスト【上肢・体幹】		/	杉山
3		関節可動域テスト【下肢】		/	杉山
4		関節可動域テストまとめ		/	杉山
5		徒手筋力検査とは 徒手筋力検査【上肢】		/	杉山
6		徒手筋力検査【上肢・体幹】		/	杉山
7		徒手筋力検査【下肢】		/	杉山
8		徒手筋力検査まとめ		/	杉山